

## 第6節 産業・経済

## 1 産業構造

## (1) 産業別事業所数及び従業員数の状況

(平成13年10月1日現在)

項目		深谷市	岡部町	川本町	花園町	1市3町合計
第1次産業	事業所数(ヶ所)	21	9	4	5	39
	従業員数(人)	264	225	21	77	587
第2次産業	事業所数(ヶ所)	1,006	316	168	140	1,630
	従業員数(人)	15,199	4,201	3,453	1,965	24,818
第3次産業	事業所数(ヶ所)	1,824	467	357	345	2,993
	従業員数(人)	12,201	2,882	2,606	2,823	20,512
その他	事業所数(ヶ所)	1,624	0	0	0	1,624
	従業員数(人)	15,723	0	0	0	15,723
合計	事業所数(ヶ所)	4,475	792	529	490	6,286
	従業員数(人)	43,387	7,308	6,080	4,865	61,640

出典:事業所企業統計調査

2 - 6 - 1 - (2)

(2) 産業別の状況

項目		深谷市	岡部町	川本町	花園町	1市3町合計	
農業	農家数(戸)	専業農家	745	219	62	95	1,121
		第1種兼業農家	776	246	54	93	1,169
		第2種兼業農家	939	402	482	317	2,140
		総数	2,460	867	598	505	4,430
	農業就業人口(人)		5,381	4,999	1,003	986	12,369
	経営耕地面積 (ha)	田	788	319	311	210	1,628
		畑	1,713	717	271	334	3,035
		果樹	23	53	17	44	137
		合計	2,524	1,088	598	588	4,798
	林業	林家数(戸)	農家林家	4	6	25	4
非農家林家			33	4	6	2	45
所有山林面積(ha)		107	24	106	15	252	
工業	工場数等(ヶ所)		222	68	50	32	372
	従業員数(人)		8,403	2,785	2,531	1,412	15,131
	製造品出荷総額(千円)		310,161,650	82,998,940	66,868,820	47,776,500	507,805,910
商業	卸売業	商店数(か所)	234	32	26	30	322
		従業員数(人)	1,754	205	337	173	2,469
		年間販売額(千円)	73,400,780	5,677,060	48,231,350	4,224,280	131,533,470
	小売業	商店数(か所)	931	133	87	86	1,237
		従業員数(人)	5,954	672	535	630	7,791
		年間販売額(千円)	102,843,620	10,379,000	10,408,060	14,560,500	138,191,180

出典及び基準日：農林業センサス(平成12年2月1日)、工業統計調査(平成14年12月31日)、商業統計調査(平成14年6月1日)

## 2 農業

## (1) 農業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町	
まつり補助事業	名称	深谷市産業祭補助	親子ふれあい収穫体験ツアー(埼玉岡部農業協同組合)		
	概要	市内商工業者並びに農業者が一同に会し、企業や個人が積み上げてきた成果を発表し即売も行う産業祭に対し、産業祭実行委員会に補助する	親子ふれあい収穫体験ツアーを行い、産地である岡部町の特産であるトウモロコシ(味来)・トマト・ジャガイモの収穫体験を実施し、PRを図る。		
	対象者	深谷市産業祭実行委員会	県内在住の保護者及び小学生		
農業経営補助事業	名称	農業近代化資金利子補給補助金	さいたま農産物キャンペーン協議会・JA榛沢(埼玉県)	農業近代化資金利子補給	
	概要	時代に即した農業経営を行うため、農家が農業機械、園芸用ハウス、種苗等を導入するにあたり、低利で融資が受けられるよう借入金の利子の一部を助成する。 利子補給率 1% 平成15年度 12,789,231円を交付した	親子とトウモロコシ収穫体験ツアーを実施し、県民の消費者に町の特産を知っていただくため、トウモロコシ(味来)を収穫体験し、PRを図る。	農業施設や農業機具または家畜の購入等に要する資金で、農業経営の資本装備の高度化を進めようとする農業者に対して資金面で支援する。利子の一部補助を行う。 利子補給率1% 平成15年度 26件 670,061円	農業施設や農業機具または家畜の購入等に要する資金で、農業経営の資本装備の高度化を進めようとする農業者に対して資金面で支援する。利子の一部補助を行う。 利子補給率1% 平成15年度 51件 1,862,840円
	対象者	農業近代化資金金融機関	県内在住の保護者及び小学生	町内在住の農業者	町内在住の農業者
農業経営補助事業	名称	農業経営基盤強化資金利子補給補助金	農業近代化資金利子補給		
	概要	認定農業者が認定計画に従って行う農業経営改善が円滑に行われるよう、必要な資金の借入れによる利子の一部を助成する。 利子補給率 0.5% 平成15年度 2,088,727円	農業施設や農業機具または家畜の購入等に要する資金で、農業経営の資本装備の高度化を進めようとする農業者に対して資金面で支援する。利子の一部補助を行う。 利子補給率1% 平成15年度 3,082,613円		
	対象者	農業経営基盤強化資金金融機関	町内在住の農業者		
農業経営補助事業	名称	新規就農者技術取得研修費補助金	農業経営基盤強化資金利子助成補助金	農業経営基盤強化資金利子助成補助金	
	概要	地域農業の原動力となる農業後継者を育成確保するため、新規就農者個人に対し補助を行う。 平成15年度 750,000円	効率的かつ安定的な農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、資金面で援助する。利子の一部を補助する。 利子補給率0.5% 平成15年度 97,592円	効率的かつ安定的な農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、資金面で援助する。利子の一部を補助する。 利子補給率0.5% 平成15年度 223,298円	効率的かつ安定的な農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、資金面で援助する。利子の一部を補助する。 利子補給率0.5% 平成15年度 727円
	対象者	新規就農者個人	町内在住の認定農業者	町内在住の認定農業者	町内在住の認定農業者

2 - 6 - 2 - (1)

(1) 農業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町	
農業経営補助事業	名称	農業災害資金資金利子補給補助金	岡部町農業災害資金利子補給補助金	農業災害資金資金利子補給補助金	
	概要	天災により被害を受けた農業者に種苗、肥料等の購入、農業用生産施設の復旧、その他農業経営に必要な資金の借り入れによる利子の一部を助成する。 利子補給率 1.8% 平成15年度 40,700円	天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、種苗・肥料等の購入、農業用生産施設の復旧、その他農業経営に必要な資金の借り入れによる利子の一部を補助する。 平成15年度 なし	天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、種苗・肥料等の購入、農業用生産施設の復旧、その他農業経営に必要な資金の借り入れによる利子の一部を補助する。 平成15年度 なし	天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、種苗・肥料等の購入、農業用生産施設の復旧、その他農業経営に必要な資金の借り入れによる利子の一部を補助する。 平成15年度 なし
	対象者	ふかや農業協同組合	町内在住の農業者	町内在住の農業者	町内在住の農業者
農業経営補助事業	名称		ふれあい農場事業補助金	水田効率ステップアップ促進事業	
	概要		一般住民の方に自然や土に親しんでもらい、農業への理解を深めてもらう事業を実施するため補助する。 平成15年度 30,000円	麦の生産拡大に関し、農業集団に補助する。	麦の生産拡大に関し、農業集団に補助する。 平成15年度 45,000円
	対象者		岡部町4Hクラブ	農業機械利用組合	農業機械利用組合
農業経営補助事業	名称	県費単独水田農業経営確立対策事業 水田効率利用条件整備事業	乳用牛結核病等検査事業費補助金	農業生産総合対策条件整備事業	
	概要	麦作付けの拡大、土地利用集積の拡大を図るため、麦の栽培管理用機械の導入を図る営農集団へ機械導入費用を補助(1/2以内 100/100県費) 平成15年度 6,642,000円	家畜伝染病予防法に基づき、牛の結核、ブルセラ病、ヨーネ病検査(1頭あたり2,500円)の検査に対して、400頭を限度に9%を補助する。 平成15年度 実績なし	麦作付拡大に関し、大型機械購入助成・508千円	麦作付拡大に関し、大型機械購入助成 平成15年度 100,000円
	対象者	機械を導入する営農集団	岡部町酪農協会	農業機械利用組合	花園町農業協同組合
農業経営補助事業	名称	養豚予防注射等事業	県大家畜経営体質強化資金利子補給事業補助金	家畜伝染病予防事業補助金	
	概要	法定家畜伝染病であるオーエスキ病及び豚丹毒の発生を防止し、養豚経営の安定・向上と公衆衛生の万全を図るため。	借入金の償還が極めて困難になっている肉用牛経営者に、低金利の資金を融資する制度の利子補給0.3% 平成15年度 53,358円	法定家畜伝染病であるオーエスキ病及び豚丹毒の発生を防止し、養豚経営の安定・向上と公衆衛生の万全を図るため。 平成15年度 432,000円	
	対象者	深谷市養豚協会	町内在住の肉用牛経営者	花園町養豚組合	
農業経営補助事業	名称	乳牛検診事業補助金		畜産協会補助金	
	概要	法定家畜伝染病である炭疽病・ブルセラ病・ヨーネ病・結核病の発生及び蔓延を防止し、酪農経営の安定と公衆衛生の万全を図るため。		畜産振興を目的に助成・700千円	畜産農家の環境保全のため、消臭剤購入費等の補助 平成15年度 508,000円
	対象者	深谷市酪農振興会		畜産協会	
農業経営補助事業	名称			有機農業推進事業	
	概要			町堆肥センターの堆肥について 1t 1,000円助成	有機農産物研究会補助金 平成15年度 100,000円
	対象者			町内農家	花園町農業協同組合

## (1) 農業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町	
農業経営補助事業	名称	大里地区農業共済組合運営補助金	農業後継者育成対策事業補助金	農業者団体育成協会	彩の国まるごと有機100倍産地育成推進事業費補助金
	概要	農作物・家畜・施設園芸等の事故を未然に防止するとともに、組合員各位の負担軽減と農家経営の安定を図るために、共済組合運営費の一部を負担する。	農業者の組織する団体に農業及び農村を担う農業後継者を育成、確保するため補助する。 平成15年度 130,000円	各農業者団体に対し助成・320千円	平成15年度 300,000円
	対象者	埼玉北部農業共済組合	岡部町4Hクラブほか3団体	農業者団体	
農業経営補助事業	名称	4Hクラブ運営費補助金	畜産振興事業費補助金		大里地区農業共済組合運営補助金
	概要	魅力ある農業及び生活の改善と地域農業発展のため、自らを磨き、より良い社会環境の建設に寄与することを目的とした活動に対する支援を行うために補助を行う。 平成15年度 130,000円	畜産農家の組織する団体へ畜産の振興を図るため補助する。 均等割 50,000円 農家割 1,000円 平成15年度 200,000円		農作物・家畜・施設園芸等の事故を未然に防止するとともに、組合員各位の負担軽減と農家経営の安定を図るために、共済組合運営費の一部を負担する。
	対象者	深谷市4Hクラブ	岡部町酪農協会ほか2団体		埼玉北部農業共済組合
農業経営補助事業	名称	荒川中部土地改良区事業等補助金	農業用廃プラスチック収集処理対策事業	土地改良区助成	荒川中部土地改良区事業等補助金
	概要	当改良区は、農業生産基盤の整備及び開発を図り、ついでには農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に努めており、その事業内容は公共的役割が高いことから費用の一部を補助金として交付している。	農業者が生産活動に伴い使用した農業用プラスチック(塩化ビニール、ポリエチエンフィルム及びポリエチレン製肥料袋)の適正な処理を行い、もって農村環境の保全を図る。	荒川中部、熊谷西部、山王用水各土地改良に補助 13,060千円	当改良区は、農業生産基盤の整備及び開発を図り、ついでには農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に努めており、その事業内容は公共的役割が高いことから費用の一部を補助金として交付している。
	対象者	荒川中部土地改良区	全農家	土地改良区	荒川中部土地改良区
農業経営補助事業	名称	男沼門樋悪水路土地改良区補助金	土地基盤整備事業補助	農業集落排水事業	農業用廃プラスチック収集処理対策事業
	概要	改良区の流域面積の中に深谷市大字江原地区の一部(29.4ha)が含まれていることから、排水機場や幹線排水路の維持管理事業等に係る費用の一部を面積按分により交付している。	地元借入償還金を補助	農業集落排水事業へ繰出金・116,000千円	農業者が生産活動に伴い使用した農業用プラスチック(塩化ビニール、ポリエチエンフィルム及びポリエチレン製肥料袋)の適正な処理を行い、もって農村環境の保全を図る。 平成15年度 341,712円
	対象者	男沼門樋悪水路土地改良区	土地基盤整備事業推進組合		全農家
農業経営補助事業	名称	豊里東部土地改良区事業補助金	農村基盤総合整備事業補助	農業後継者媒酌人褒賞	農業集落排水事業
	概要	土地改良事業によって造成された施設の定期的な整備補修及び水路の機能保持のための適正な管理を実施しており、平成14年度から土地改良施設維持管理適正化事業を実施するため、国県補助金以外の地元負担金について補助金を交付する。	地元借入償還金を補助	農業後継者の結婚により褒賞	農業集落排水事業へ繰出金 81,459千円
	対象者	豊里東部土地改良区	岡部町ミニ総バ推進組合	媒酌人	

2 - 6 - 2 - (1)

(1) 農業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町	
農業経営補助事業	名称	市単土地改良事業補助金	集落環境整備事業補助	飯米農家転作促進	
	概要	生産性の高い農業経営を確立するため、国や県の補助採択基準に適合しない小規模な土地改良事業について、改良区や水利組合等が実施する事業に対し補助を行う。	地元借入償還金を補助	転作し、米を生産しない農家に、米購入価格30kgにつき、2,000円補助 年1,796千円	
	対象者	市内水路組合等	本郷・今泉地区集落環境整備事業推進組合	転作農家	
農業経営補助事業	名称	備前渠用水路土地改良区事業補助	町用排水維持管理連合会補助	農業総合推進協会	用排水路等維持管理組合連合会補助
	概要	当土地改良区で管理する備前渠用水路は、江戸時代に築造された素堀りの土水路で、全長は約21kmあり、定期的な整備補修や機能保持のための維持管理事業等に多額な費用がかかることから、その事業費の一部を補助金として交付しているものである。	運営及び維持管理費を補助	作目振興、集団防除等の農業振興に助成	運営及び維持管理費を補助
	対象者	備前渠用水路土地改良区	岡部町用排水維持管理連合会	要件達成者	花園町用排水路等維持管理組合連合会
農業経営補助事業	名称	明戸北部農業農村整備推進事業	榛沢地区用排水維持管理組合補助		
	概要	不耕作農地の急増や農村地域の活力の低下が懸念されており、これらを解消するため平成14年度に促進協議会が設立され、事業化に向けた施策を推進するとともに、新たな整備手法を調査・研究し地域の合意形成を図るため補助金を交付する。	運営及び維持管理費を補助		
	対象者	明戸北部農村整備促進協議会	榛沢地区用排水維持管理組合		
農業経営補助事業	名称	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金			
	概要	国営造成施設(幹線用排水路、揚水機場等)の管理に係る費用の一部が国庫補助の対象となったことに伴い、深谷市が事業主体となり国庫補助金と他町の負担金を荒川中部土地改良区へ補助金として交付するものである。			
	対象者	荒川中部土地改良区			
農業経営補助事業	名称	深谷市土地改良推進協議会補助金			花園町酪農振興会・花園町養豚組合
	概要	市内土地改良団体相互の連絡調整を図り、事業の発展と調査研究を推進するため、運営費として補助している。			畜産の振興を図るため、畜産農家の組織する団体に補助している。 平成15年度 91,900円
	対象者	深谷市土地改良推進協議会			花園町酪農振興会・花園町養豚組合補助金

## (1) 農業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町
農業経営補助事業	名称	農業後継者育成確保推進事業費補助金		花園町植木組合・花園町植木青年部補助金
	概要	深谷市農業の将来を担う優れた農業後継者の育成、確保を目的とし、魅力ある農業生産構造の確立により農業後継者の定着を図るために補助を行う。 平成15年度 950,000円		植木生産の振興を図るため、植木農家の組織する団体に補助している。 平成15年度 92,000円
	対象者	深谷市農業後継者対策協議会		花園町植木組合・花園町植木青年部
農業経営補助事業	名称	深谷市肉牛肥育振興協会補助金		花園町花卉生産組合・町福寿草研究会補助金
	概要	深谷市肉牛肥育振興協会の運営費補助金。肉牛肥育の普及と、飼養技術の向上を図るための補助金。		花卉生産の振興を図るため、花卉農家の組織する団体に補助している。 平成15年度 73,000円
	対象者	深谷市肉牛肥育振興協会		花園町花卉生産組合・町福寿草研究会
農業経営補助事業	名称	園芸振興事業運営費補助金		花園町野菜振興協議会補助金
	概要	深谷地方蔬菜園芸の振興・発展を図るため、各種事業を実施するため。		野菜生産の振興を図るため、野菜生産農家の組織する団体に補助している。 平成15年度 70,000円
	対象者	深谷市園芸協会		花園町野菜振興協議会
農業経営補助事業	名称	深谷市農林金融協議会運営費補助金		
	概要	農業状況の変化に即応した農業経営の安定が図られるよう、各農林制度資金の目的に沿った適正かつ円滑な融通が図られるよう、借入審査会、視察・研修会などを実施するため運営費の一部を助成する。 平成15年度 20,000円		
	対象者	深谷市農林金融協議会		

2 - 6 - 3 - (1)

3 市(町)民農園

(1)市(町)民農園の状況

(平成16年4月1日現在)

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町
設置数(力所)	市:4 JA:14		1	1
区画数(区画)	市:68 JA:252		80	191
利用料	市:無料 JA:3,000円/区画		2,060円	12,000円(年間)
利用契約期間	1年間(最長5年間)		1年	1年
利用料の減免	なし		なし	有
1区画あたりの面積	不定		20㎡	30㎡
総面積(㎡)	市:7,296㎡ JA:11,118㎡		2,236㎡	19,560㎡
運営	深谷市 JAふかや		町	(有)はなぞの

## 4 商工業

## (1) 商工業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)  
実績は平成15年度

項目		深谷市	岡部町	川本町	花園町	
融資事業	名称	深谷市小口金融特別保証制度・深谷特別小口無担保無保証人保証制度			商工業小口金融利子補給補助金	
	概要	限度額(万円)	1,250			550
		期間	設備 8年、運転 6年			設備 8年、運転 6年
		利率(%)	1.65			1.65
	対象者	個人にあつては住所及び事業所を、法人にあつては事業所をそれぞれ市内に1年以上引続き有し、かつ同一事業を営んでいる中小企業者で市税を完納していること。特別小口の場合、従業員が5人以下(商業・サービス業は2人以下)で、市県民税の所得割(法人の場合は法人税割)があるもの。			個人にあつては住所及び事業所を、法人にあつては事業所をそれぞれ町内に1年以上引続き有し、かつ同一事業を営んでいる中小企業者で町税を完納しており、事業に必要な許認可、登録等を受けていること。	
	実績	件数(件)	23			20
		金額(円)	184,000,000			629,238
	名称	深谷市中小企業緊急運転資金				
	概要	限度額(万円)	運転 300			
		期間	1			
		利率(%)	1.375			
	対象者	個人にあつては住所及び事業所を、法人にあつては事業所をそれぞれ市内に1年以上引続き有し、かつ同一事業を営んでいる中小企業者で市税を完納していること。				
	実績	件数(件)	0			
		金額(円)	0			
	名称	深谷市中小企業近代化経営資金				
概要	限度額(万円)	2,000				
	期間	設備 12年、運転 10年				
	利率(%)	1.5				
対象者	個人にあつては住所及び事業所を、法人にあつては事業所をそれぞれ市内に1年以上引続き有し、かつ同一事業を営んでいる中小企業者で市税を完納していること。					
実績	件数(件)	0				
	金額(円)	0				

2 - 6 - 4 - (1)

(1) 商工業振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)

項目		深谷市	岡部町	川本町	花園町
中小企業経営 補助事業	名称	深谷工業連絡会	岡部町中小企業経営合理化資金利子補給補助金		
	概要	工業振興並びに工業行政の円滑な運営のため、関係機関との連絡調整を図ることに補助する。	借入者が1年間に返済した元金に対して、0.5%以内の利子補給を行う。		
	対象者	深谷工業連絡会	中小企業経営者		
	名称	深谷ふれあい朝市事業費補助金	雇用対策推進事業補助金		
	概要	中心市街地に活性化を取り戻すため、毎月最終日曜日の朝7時から9時まで開催する朝市の広告料として30万円の補助をした。	中小企業の雇用の安定と労働安全及び衛生面の推進を図ることを目的とする。		
	対象者	商店街連合会	岡部町商工会		
	名称	窯業対策協議会補助金			
	概要	後継者の育成・経営基盤の強化等の支援の充実を図るため補助する。			
	対象者	窯業対策協議会			
	名称	深谷瓦商工業協同組合補助金			
	概要	生産技術と品質向上及び販路の拡張、確保を計る粘土瓦工業の振興に支援するため補助する。			
	対象者	深谷瓦商工業協同組合			
	名称	深谷洋装協同組合アパレル研究会補助金			
概要	アパレル業界の振興及び外国人研修生の受け入れ事業の一部に対し補助をする。				
対象者	深谷洋装協同組合				
名称	借入完済奨励金				
概要	市小口融資制度に基づく融資を受け、計画期間内に元金、利子及び保証料を償還した者に対し補助する。				
対象者	借入金期間内完済事業者				
中小企業経営 補助事業	名称	緊急支援対策利子補給事業			
	概要	市内中小企業者の事業資金調達の支援と負担の軽減を図るため、平成15年1月1日から平成17年3月31日の間に融資申し込みをされたかたを対象に、実行された小口融資に対し、融資実行日から起算して1年間分の利子補給を行う。利子補給期間中の実質金利は0%。			
	対象者	深谷市融資制度の小口資金または特別小口無担保無保証人資金を利用する者			

## (2) 商工会議所(商工会)振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)  
実績は平成15年度

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町
名称	深谷商工会議所事業費補助金	商工会青年部特別事業補助金	商工会補助金	商工会補助金
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	まちおこし事業及び地域リーダーの人材育成を図ることにより、創造性豊かな活力あるまちづくりを図る。	商工会の一般事業経営診断・青色申告事務等に対し、補助する。	商工会の一般事業経営診断・青色申告事務等に対し、補助する。
実績(円)	12,000,000円	200,000円	8,500,000円	10,200,000円
名称	深谷商工会議所小規模事業指導費補助金	税務対策事業補助金	商工振興対策補助金	
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	法人及び個人事業者の納税意識の向上及び税制面の指導を目的とする。	町の商工業の振興対策に対する補助金	
実績(円)	2,260,000円	50,000円	1,000,000円	
名称	深谷商工会議所青年部事業費補助金	地域活性化対策事業補助金	青年婦人後継者育成補助金	
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	コスモス祭を開催し、「コスモスの町」の観光PRや町内産業の振興及び地域住民のふれあいを図る。	町の商工業者の後継者、及び青年・婦人部活動に対しての補助金	
実績(円)	100,000円	3,000,000円	100,000円	
名称	産業会館施設運営管理委託料	産業祭補助金		
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	町の産業のPR及び地域経済の向上を図る。		
実績(円)	12,376,875円	200,000円		
名称	豊里商工会事業費補助金	商工振興費補助金		
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	商工業の健全な育成と基盤整備を図り町の活性化に資する。		
実績(円)	720,000円	180,000円		
名称	豊里商工会小規模事業指導費補助金	商工会運営費補助金		
概要	市内商工業の総合的な改善発達を目指し、活動を推進する。商工会議所や商工会に対し、事業費の一部を補助する。	商工会の経営改善普及事業に対し事業費の一部を補助する。		
実績(円)	680,000円	10,300,000円		
名称		商工会指導環境推進費補助金		
概要		商工会の安定運営と組織活動を促進し、地域商工業の振興を図る。		
実績(円)		3,800,000円		

2 - 6 - 4 - (2)

(2) 商工会議所(商工会)振興施策の状況

(平成16年4月1日現在)  
実績は平成15年度

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町
名称		商工会青年部女性部育成補助金		
概要		青年部女性部の育成を図り、商工会の組織基盤の強化を図る。		
実績(円)		360,000円		

## 5 消費者

## (1)消費者施策の状況

平成15年度実績

項目	深谷市	岡部町	川本町	花園町
名称	広報を通じての消費者情報の提供		消費生活モニター	広報を通じての消費者情報の提供
概要	広報「ふかや」に悪徳商法や架空請求等の事例を掲載し、注意を呼びかける。		物価調査と、アンケートの回答などを行う。	広報「はなぞの」に悪徳商法や架空請求等の事例を掲載し、注意を呼びかける。
実績(件)	5回掲載		1件	3回掲載
名称	消費生活パネル展示			消費生活パネル展示
概要	市民ホールを利用し、消費生活に関するパネルを展示する。			役場ロビーを利用し、消費生活に関するパネルを展示する。
実績(回)	1回			1回
名称	悪徳商法110番			
概要	悪徳商法に関する相談を専用電話で受付(月曜～金曜)			
実績(円)				

2 - 6 - 6 - (1)

6 労働

(1) 勤労者施策の状況

(平成16年4月1日現在)  
実績は平成15年度

項目		深谷市	岡部町	川本町	花園町
名称		勤労者住宅資金貸付あっせん事業	勤労者住宅資金貸付あっせん事業		
概要	限度額(万円)	一件につき1,000万円	一件につき 500万円		
	期間(年以内)	貸付期間 30年以内	貸付期間 30年以内		
	利率(%)	貸付利率 1.815%	貸付利率 1.815%		
実績	件数(件)	斡旋件数 2件	0件		
	貸付額(円)	斡旋額 17,875,000円	0円		
名称		大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター
概要		大里地域9市町内(熊谷市・深谷市・大里町・江南町・妻沼町・岡部町・川本町・花園町・寄居町)の中小企業に勤務する勤労者の福利厚生事業の向上を図るとともに、大里地域内中小企業の振興・発展に寄与する	大里地域9市町内(熊谷市・深谷市・大里町・江南町・妻沼町・岡部町・川本町・花園町・寄居町)の中小企業に勤務する勤労者の福利厚生事業の向上を図るとともに、大里地域内中小企業の振興・発展に寄与する	大里地域9市町内(熊谷市・深谷市・大里町・江南町・妻沼町・岡部町・川本町・花園町・寄居町)の中小企業に勤務する勤労者の福利厚生事業の向上を図るとともに、大里地域内中小企業の振興・発展に寄与する	大里地域9市町内(熊谷市・深谷市・大里町・江南町・妻沼町・岡部町・川本町・花園町・寄居町)の中小企業に勤務する勤労者の福利厚生事業の向上を図るとともに、大里地域内中小企業の振興・発展に寄与する
実績	団体	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	大里地域中小企業勤労者福祉サービスセンター
	金額(円)	負担金 4,557,191円	負担金 795,572円	負担金 630,000円	負担金 514,259円
名称		深谷・岡部地区労働講座	深谷・岡部地区労働講座		
概要		勤労者の職業生活において、必要とされる専門的、実践的知識に関する講座の開催。県北部労働商工センターと深谷市・岡部町の共催で実施。	勤労者の職業生活において、必要とされる専門的、実践的知識に関する講座の開催。県北部労働商工センターと深谷市・岡部町の共催で実施。		
実績		9/25・26実施	9/25・26実施		
名称		小規模事業者退職共済掛金補助事業			
概要		単独では、退職金制度を設けることが困難な、常時使用する従業員が20人以下の事業所で中小企業退職金共済制度若しくは特定退職金共済制度に加入している企業者に対し負担している従業員退職金共済掛金の一部を市で補助する。			
実績		150人分 2,952,000円			

## 7 観光

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 深谷市 &gt;

七夕まつり	<p>宿場町の遊女たちが日頃の屈折した思いを短冊に書いて流した「星祭」がその起源と云われているように長い歴史をもつた民俗行事でした。</p> <p>その後、深谷に夏の訪れを告げる祭りで、毎年七夕の頃にあわせて開催されます。旧中仙道を中心に約1.5kmにわたって高さ5mほどの七夕飾りが連なります。華やかな5色の短冊と淡い萌葱色の若笹が、風に吹かれてゆらめく様子は、圧巻です。両脇には出店がずらりと並び、浴衣姿の人でにぎわいます。北関東有数の規模を誇り、毎年多くの人出があります。</p>
深谷まつり	<p>深谷まつりは深谷を代表する深谷八坂まつりとともに、7月末の金・土・日曜日の3日間にわたって繰り広げられます。もともとは、厄除けや市の神（商売繁盛）を祈願する八坂神社の例大祭で300年余りの歴史があります。御輿渡御の日には、各町自治会から山車や屋台が繰り出され、にぎやかな囃子とともにまちを練り歩きます。夜になると、山車と屋台が1か所に集結し囃子の叩き合いが始まります。</p> <p>これは、それぞれが固有の囃子を一齐に打ち鳴らすもので、喧嘩囃子などとも呼ばれています。四方八方から異なる調子の囃子が聞こえ、その激しいパチさばきとほとばしるような熱気に観客とともに酔いしれます。</p> <p>そのほかにも、米沢市から招いた稲富流砲術隊による実射演技を始め、子供御輿やかわり御輿のパレードなどさまざまなイベントが同時に開催されます。</p>
福祉・健康まつり	<p>市内福祉団体による「福祉の市」及び保健センターによる「健康まつり」により構成され、毎年10月の第4土日に開催されます。福祉の市は、老人や障害者が製作した作品を展示・販売することにより、製作意欲の向上と社会参加の拡大を図るとともに、市民の地域福祉に対する意識啓発を目的としています。市内福祉施設、ボランティア団体による出店及び高齢者や障害者の疑似体験コーナーなどが出店しています。</p> <p>健康まつりは、市民の健康の増進を目的として、各種相談コーナー、検査コーナーを実施しています。</p>
深谷市産業祭	<p>深谷市産業祭は、毎年11月の第三土日に実施されます。商工業、農業の発展と技術及び経営の改善意欲の高揚を図るとともに、消費者の市内生産物などに対する理解を高めることを目的に行われています。毎年多くの農産物や市内商工業者が数多く出店し多数の買い物客で賑わいをみせています。</p>
深谷七福神・七草寺めぐり	<p>「家内安全」「商売繁盛」などの守護神として親しまれている七福神。7つの寺院を回ると約22キロメートルの行程となります。</p>

( 1 ) 主な観光資源

< 深谷市 >

<p>昌福寺の禅宗庭園</p>	<p>深谷市人見、仙元山公園の南麓に位置する昌福寺は、禅宗庭園で知られています。昌福寺は、康正2年(1456)、深谷木瓜(ボケ)城を築城した上杉房憲によって建立されました。庭園は、室町時代末期のものといえます。本堂の裏に位置する禅宗庭園は、心字池に樹齢400年の蓮華座もっこくの木が映じ、ものさびた立石、簡素な石組、枯れ瀧などに枯淡なあじわいがあり、深谷上杉氏が、つげ、熊笹、かしわを植えたという伝承があります。</p>
<p>楡山神社の鎮火祭</p>	<p>深谷市原郷にある楡山神社。その名のとおり、境内には楡の木が多い。なかでも、鳥居わきの大楡は、樹齢500年以上といわれ、県の天然記念物に指定されています。この神社で、毎年3月3日、「鎮火祭」が、古式ゆかしくとり行われます。人々の生活に欠かせない“火”に感謝するとともに、火災に遭わないように祈願します。</p>
<p>渋沢栄一記念館</p>	<p>近代日本の実業界に、偉大な業績を残した渋沢栄一。深谷市下手計に「渋沢栄一記念館」があります。ここは、郷土の偉人とのふれあいや、農業関係者などの研修の場として、国の助成を受けて市が設置したものです。天保11年(1840)、現在の深谷市血洗島に生まれた栄一。家業を手伝ううちに、自然に経済や商売の仕組みを学び、大実業家渋沢栄一の基礎になりました。記念館の資料室には、掛軸や当時の写真、書籍など、栄一ゆかりの資料が展示されています。また、多目的に利用できる体育室などもあり、地域の皆さんの健康づくりなどにも役だっています。</p>
<p>フリーモント通り</p>	<p>深谷駅から2キロほど離れた、深谷上柴ショッピングセンターの東側1.4キロの通りには、北米原産のハナミズキが植えられています。深谷市は昭和55年1月に、アメリカ合衆国カリフォルニア州のフリーモント市と姉妹都市になり、これを記念して「フリーモント通り」と名付けられた道です。4月下旬から5月には、赤と白の花が交互に植えられたハナミズキが、交差する日赤通りと合わせて約4キロにわたり、咲き誇ります。</p>
<p>福川レンガ鉄橋 (プレートガーダー橋)</p>	<p>深谷市原郷地内にあるレンガ鉄橋は、日本が近代国家として歩み始めた明治時代の面影を残すものです。この鉄橋は、当時普及した「ポータル型」で、国内に現存する最古のものです。深谷市内のレンガ会社と深谷駅を結ぶ、民間会社による日本最初の貨物専用引込線の一部として設けられました。昭和62年に、市の文化財に指定されています。現在は、引込線の廃線跡を利用した遊歩道の一部として移設されています。東京駅や日本銀行など、近代日本を代表する建造物に使われた赤レンガは、かつてこの橋を通して、近代産業の幕開けに大きく貢献しました。</p>

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 深谷市 &gt;

男寺・女寺	<p>深谷市新戒に、東雲寺と大林寺という2つの寺があり、それぞれ通称、男寺・女寺と呼ばれています。これは、古くからこの地域では、男が亡くなると東雲寺へ、女が亡くなると大林寺へ、男女別々に葬るといふ珍しい風習があったことから、呼び名がついたものです。東雲寺は、鎌倉初期の武将、新開荒次郎実重（しんかいこうじろうさねしげ）の開基であり、また大林寺は、その夫人の開基です。新開氏の始祖は、古代の帰化豪族である秦河勝（はたのかわかつ）の子孫といわれる新開忠氏（ただうじ）で、その養子となった荒次郎実重は、鎌倉幕府の御家人として活躍しました。正治2年（1200）に没した荒次郎実重は東雲寺に、建仁3年（1203）に没した夫人は大林寺に葬られました。それぞれの寺の境内には、2人の供養塔が現在も残っています。新開氏の子孫が移ったといわれる徳島県阿南市にも、男女別々に葬るといふ風習を伝えるもう1つの男寺・女寺があります。</p>
中山道と旧深谷宿常夜灯	<p>中山道は、江戸日本橋から京都までの116里33丁を結ぶ重要な街道の1つでした。「木曾街道六十九次」によれば江戸日本橋を出発して、板橋を過ぎると現在の埼玉県に入ります。蕨、浦和、大宮、上尾、桶川、鴻巣、熊谷、深谷、本庄の各宿場を経て群馬県に至ります。旧深谷宿は、この県内の宿場のなかで旅籠屋を80軒有し、最大の規模を誇っていました。当時の旅人は、危険な夜道をなるべく避けて早めに宿場に入り、朝は日の出より2時間も前に出発するのが普通でした。（これを「セツ立ち」と言いました。）旅籠屋は、1泊が原則で、2泊は禁じられていたといえます。商人、職人、芸人など、たくさんの人々が利用した宿場。旅人にとっては、他国の風物や人と出会う場でもありました。今でも、深谷宿の名残りの常夜灯が中山道にあります。西と東の宿場境にあり、西の常夜灯は天保11年（1840）、東の常夜灯は明治初頭に建てられました。高さは、約4メートルで、中山道のなかでもまれにみる大きさです。</p>
瀧宮神社	<p>J R 深谷駅の自由通路を渡り南口に出ると、すぐ前の唐沢川のほとりに瀧宮神社があります。起伏に富んだ境内は、けやきや杉の大木がうっそうと茂っています。唐沢川のせせらぎには、神社に通じる3本の橋がかかり、辺りは桜の名所でもあります。真ん中の太鼓橋を渡ると、正面に神社の社があります。瀧宮神社の旧名称は「瀧の宮大明神」。主神は神話「海幸彦・山幸彦」で知られる山幸彦の彦火火出見命（ひこほほでみのみこと）。主神にそえて天照大御神（あまてらすおおみかみ）や、五穀を司る豊受姫命（とようけひめのみこと）も祭られています。康正2年（1456）上杉房憲（ふさのり）が深谷城を築いてから、寛永3年（1626）、同城が廃城になるまでの間、歴代の城主に厚く保護されたと言われていています。その後、地区の鎮守として、地域の人々に親しまれています。</p>

( 1 ) 主な観光資源

< 深谷市 >

<p>みかへりの松</p>	<p>中山道の深谷宿付近では、古くから杉や松の大木が街道の両側に連なり、「深谷の並木」として知られていました。国道17号と中山道が交差する一角に、樹齢300年といわれる「みかへりの松」があります。深谷に泊まった旅人が江戸に向かうとき、振り返って別れを惜しむ姿にちなみ、名付けられたと言います。深谷には、江戸時代の常夜灯や、格子窓の家々、古い土蔵などが随所に残り、往時の宿場の面影を今に伝えています。</p>
<p>誠之堂・清風亭</p>	<p>「誠之堂」は、深谷市出身の実業家、渋沢栄一の喜寿を記念して、旧第一国立銀行の関係者が大正5年に建設した煉瓦造りの洋館です。「清風亭」は、これと対になるように、大正15年に建てられたものです。両建物は、元々東京都世田谷区内にあったが、事情により取り壊しとなることを、歴史的な建造物保護のため、深谷市が引き取り、平成10年から2か年で移築、復元したものです。「誠之堂」は、大正時代を代表する建築家、田辺淳吉の設計です。イギリスの農家風の外観で、風格のある煉瓦積みの暖炉や、ステンドグラスなど、大正ロマンあふれる名建築です。一方「清風亭」は、銀行建築の名手といわれた西村好時の設計で、当時ではたいへん画期的な鉄筋コンクリート建築です。屋根のスペイン瓦や半円形のアーチが連続するベランダなどが印象的です。</p>
<p>ホフマン輪窯(日本煉瓦史料館)</p>	<p>深谷市は日本で初めて機械式の煉瓦工場が建設されたまちです。多くのレンガがここから出荷され、東京駅をはじめ全国の都市景観を彩ってきました。その煉瓦工場建設にあたって、明治政府の招きで来日したドイツ人技師の住まいとして建てられた木造洋館が、工場の歴史を受け継ぐ日本煉瓦製造(株)によって、日本煉瓦史料館として公開されています(有料、大人200円、学生100円)。この木造洋館は、同敷地内にある回廊型の煉瓦窯、ホフマン輪窯などとともに、平成9年5月に近代化資産として国の重要文化財に指定されています。</p>
<p>深谷ビッグタートル(深谷市総合体育館)</p>	<p>深谷ビッグタートル(深谷市総合体育館)は、トレーニング室を有する北関東でも有数の体育館です。団体利用の予約がないときには個人利用もでき、卓球やバドミントンのラケットやボールなどのレンタルもあります。</p>
<p>深谷グリーンパーク・パティオ</p>	<p>この南ヨーロッパ風のリゾート施設は、北関東最大の全天候型ウォーターパークです。25メートルプールのほか、波のプール“バージンウェーブ”やウォータースライダー“スピニングスライダー”もあり、連日黄色い歓声が響きます。</p>

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 岡部町 &gt;

岡部藩	江戸時代、県内には、川越、忍（行田）、岩槻、そして岡部に藩が置られました。天正18年（1590）、徳川氏の関東入国に従った安部信勝（あんべのぶかつ）は、武蔵国榛沢（はんざわ）郡（現在の岡部町及び深谷市の一部）などのうち5,250石が与えられました。その後安部氏は、大坂冬・夏の陣などで活躍、加増されて石高は、20,250石の大名となり、榛沢郡岡部の地に陣屋（政庁）を構えました。陣屋は、中山道沿いに大手門を配し、周りは土塁（どるい）や空濠（からぼり）で囲まれていたといわれています。江戸幕府からの信頼もあつく、岡部藩主として、幕末まで交代することなく、13代続きました。現在、陣屋跡には、民家と畑が広がり、当時の面影はありませんが、近くの源勝院（げんしょういん）は、信勝の建立であり、安部氏の菩提寺として、歴代藩主が葬られています。
お手長様の里神楽	2月中旬、お手長山古墳（通称お手長様）で、神楽の舞（町指定文化財）が行われます。神楽は、朝廷で神を祭るために舞楽を奏でたのが始まりで、その後民間にも広まり「里神楽」といわれて人々に親しまれるようになりました。大里地域では、江戸時代末期に、現在の深谷市新戒地区でいち早く里神楽が広まり、お手長様の里神楽もこの時期に始まったとされています。当日は神楽師が、五穀豊穰を願い、江戸時代から伝わる由緒ある面を付け、笛や太鼓に合わせて神楽を舞います。
道の駅「おかべ」	国道17号深谷バイパス沿いにある道の駅「おかべ」は、関東地方で初めて建設省と町が一体となって整備したものです。道の駅とは、ドライバーの休息、情報の発信、地域連帯の機能をもった、地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場であり、国道利用者と地域の人々の接点でもあります。特産物販売コーナーや、中宿遺跡展示室、飲食コーナー、そしてマルチビジョンを備えた休息施設などがあり、国道利用者のためであるとともに、町の人々の憩いの施設でもあり、また、情報発信基地でもあります。
コスモス祭・花火大会	毎年、10月の第2日曜日に、岡部町の通称「コスモス街道」沿いで行われるこの祭りは、岡部町民総出の大イベントとして、大変盛り上がりを見せています。コスモス街道は、全長約2キロメートルにわたり、赤、白、ピンクとコスモスが群れ咲く町道です。コスモス祭は、コスモスが町の花になったのをきっかけに始められました。郷土芸能などの数多くの催しや、花火大会が行われます。

( 1 ) 主な観光資源

< 岡部町 >

<p>中宿歴史公園(中宿古代倉庫群跡)</p>	<p>岡部町では、奈良、平安時代の史跡「中宿古代倉庫群跡」(県指定)を中心にし、周辺の道の駅「おかべ」を含めた約40,000平方メートルを、文化財保護を目的とした「中宿歴史公園」として整備しました。主なものは、復元された古代倉庫2棟、各種広場(芝生、親水、遊具)や森林、人工的な池などです。特に古代倉庫は、1棟は校倉(あぜくら)造り、もう1棟は板倉(いたくら)造りという異なる工法により復元されています。</p>
<p>東光寺</p>	<p>この寺は、文治2年(1168)に、榛沢六郎成清が、榛沢一帯に流行した疫病から、領民を救うために建立したと伝えられています。東光寺という寺号は、時の將軍源頼朝が尊崇していた伊豆の東光寺に由来します。成清自ら鎌倉に赴いて頼朝に懇願し、この寺号を与えられたといわれています。</p>
<p>高島秋帆幽囚の地</p>	<p>高島秋帆は、寛政10年(1798)長崎で生まれ、父の跡を継いで町年寄りとなりました。オランダ人のいる出島へ自由に出入りできたことから、西洋軍事学を修得し、高島流砲術を創始しました。その後、秋帆は、天保12年(1841)、幕府の命により江戸近郊の徳丸原(現在の高島平)で、西洋式の兵術や砲術を紹介しました。これを契機に高島流砲術は天下に広まり、江戸で門人が4,000人を超えたといわれています。しかし、一部の者の嫉妬から、中傷を生み、秋帆は獄に投ぜられ、弘化3年(1846)から嘉永6年(1853)までの間、岡部藩預かりの身となりました。岡部の地で、秋帆は、藩士に砲術や兵術を指導したといわれています。 (高島秋帆幽囚の地 = 昭和36年9月県指定文化財) 平成7年3月19日「岡部藩陣屋跡」に名称変更</p>
<p>榛沢六郎成清供養塔</p>	<p>樹齡200年以上はあるとみられる榎と櫻の大木に囲まれた小さな祠に、1メートルほどの自然石が立っています。これが榛沢六郎成清の供養塔です。成清は、岡部町榛沢一帯の領主として、その生涯を名将畠山重忠とともにした人物です。神仏に対する信仰心が深く、疫病に苦しむ領民を救うため、同地に大寄八幡大神社や東光寺などを開きました。成清は、父の代から畠山氏に仕え、畠山重忠の養育役でした。元久2年(1205)に2人共北条氏の策略により、鎌倉におびき出され、現在の横浜市旭区二俣川付近でその生涯を閉じました。(昭和38年県指定文化財)</p>

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 岡部町 &gt;

岡部六弥太忠澄の墓	<p>岡部六弥太忠澄は、武蔵七党の一つ猪俣党出身の鎌倉武士です。源頼朝の父、義朝の家人として保元・平治の乱に活躍し、特に待賢門（たいけんもん）の戦で源氏17騎の1人として勇名をはせたことが「平治物語」にみえます。その後、源氏没落により一時岡部にいましたが、治承4年（1180）、源頼朝拳兵に依りて従軍し、数々の戦で活躍しました。六弥太の墓は岡部町大字普濟寺（ふさいじ）地内にあります。ここには中世の典型的な五輪塔が六基並んでいますが、北側から2番目の最も大きいものが六弥太のものとされています。その向かって右が父行忠、左が夫人の墓と言われています。その後、六弥太の墓石の粉を煎じて飲むと、子のない女子に子が授かり、乳の出ない女子は乳が出るようになるという迷信が伝わり、現在六弥太の墓は削られ変形しています。平成3年に行われた発掘調査で、多数の蔵骨器が出土しています。（大正13年県指定文化財）</p>
弘光寺	<p>秋にはコスモスが咲くコスモス街道の南、岡部町針ヶ谷に弘光寺があります。創建の年代は明らかではないが、天平17年（745）の開基と伝えられています。この寺に、町指定の文化財が2件あります。1つは、本堂の北側にある弘光寺客殿です。これは天保4年（1833）に建立された江戸時代の典型的な書院造りの建物で、間口が7間（約13メートル）、奥行が5間（約9メートル）、屋根は寄棟瓦葺きです。もう1つは、戦国時代の古文書である北条氏邦印判状です。これは、天正9年（1581）に、当時鉢形城主であった北条氏邦が弘光寺に送った書状で、氏邦の朱印が押されています。印判状の内容は、「仏母院屋敷を引き渡す。寺に対しての全ての税を免除する」というものです。当時、仏母院は何らかの理由で寺の所有を離れていました。それを弘光寺の関係者が寺のため、氏邦に寺屋敷の所有認定を願い出たのです。印判状はこれを許可したものです。</p>
藤田神社の獅子舞	<p>岡部町本郷の藤田神社に伝わる獅子舞。この獅子舞の起こりは、慶長5年（1600）ごろ、疫病退散のため、獅子頭を藤田神社に奉納したことによると言われています。その舞いは、法眼、女獅子、男獅子が、胴に付けた太鼓を打ちながら激しく踊るものです。日照りのとき、同地区にある象殿（ぞうでん）沼で舞うと、必ず雨が降ったと言われ、「本郷の雨ごい獅子」とも呼ばれています。</p>
ふれあいカーニバル 祭りinおかべ	<p>夏の 人のふれあいを大切に、「ふるさと」の良さを再認識してもらいたいと始められたお祭りで、商工会青年部主催で毎年7月に行われています。この祭りには、岡上・岡下・岡部の屋台囃子、岡里・岡新田及び子供会のお神輿をはじめ、山河子供会による八木節踊り、和太鼓演奏、よさこいそーなん踊りなどの催し物が披露されます。</p>

2 - 6 - 7 - ( 1 )

( 1 ) 主な観光資源

< 岡部町 >

<p>百庚申</p>	<p>岡部町岡地区、旧中山道が国道17号深谷バイパスと交差する手前の坂道にある100余りの苔生した大小の庚申塔。この百庚申は、万延元年（1860）から2年かけて、旧岡村の有志13人によって建立されたと言われています。当時は、安政の大獄や、桜田門外の変などで国が大きく揺れ動いており、民衆の生活も不安定であったため、神仏に頼ろうとした心理が働き、重ねて万延元年が庚申（かのえさる）歳に当たるため、各地で庚申塔が建立されました。岡地区では、1体よりも百体の庚申に祈ることで、100倍の功德があるということで100庚申が建立されたと言われています。今でも100庚申には、願掛けにお札を納める人や、きれいに清掃をする人があり、地域の人々に親しまれ、大切に守られています。（昭和54年4月1日町指定文化財）</p>
------------	--

< 川本町 >

<p>応正寺の節分と豆まき</p>	<p>応正寺（おうしょうじ）では、壇信徒や地域の方が共に取り組める行事を始めようと、昭和50年から手作りの節分会が始まりました。今ではすっかり定着しています。</p>
<p>白鳥の飛来地</p>	<p>川本町大字本田平方裏地内に毎年100羽を超えるコハクチョウが飛来する荒川の名所があります。平成3年に地元住民が餌付けに成功し、その後、10月下旬に最初の数羽が飛来します。毎日、午前10時と午後3時の2回、餌付けを行っています。</p>
<p>かしまこふんぐん 鹿島古墳群</p>	<p>荒川右岸の河岸段丘上に位置し、東西1.4km・南北300mに構築された県内有数の大規模な古墳群です。埼玉県指定史跡として56基が保存されており、囲柵・案内板・トイレ・駐車場などが整備されています。白鳥飛来地にも隣接しており、多くの人を訪れます。</p>
<p>すがぬまてんじんしゃ 菅沼天神社の例大祭</p>	<p>学問の神様として知られる天神様。川本町大字菅沼地区には、太宰府天満宮から村の氏神として祭られたと伝えられる「菅沼天神社」があります。ここでは、毎年2月25日に、「<small>まとば</small> 的場の儀<small>ぎ</small>」を中心とした春の例大祭が行われています。この催しは、空木で作られた矢を、梅の枝と麻縄で作られた弓で射り、竹で六角形に編んだ的に当てるというもので、五穀豊穡や家内安全を願い、古くから行われています。また、天神社であることから、合格祈願を訪れる受験生や家族も多くなっています。</p>

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 川本町 &gt;

<p>いぐらじんじゃしゅうへん うくいす せ 井棕神社周辺と 鶯の瀬</p>	<p>秩父鉄道武川駅をあとに、国道140号を横断し、荒川沿いを右へ進むと、植松橋がみえてきます。橋を渡りきったところで右に曲がると、右手に「井棕（いぐら）神社」の森があります。この神社は、重忠ゆかりの神社で、重忠の祖父重綱（しげつな）が、秩父吉田郷（現秩父郡吉田町）から分霊したといわれています。井棕神社の裏に鶯の瀬・鶯の瀬公園があります。鶯の瀬公園は故事に、畠山重忠が榛沢六郎成清（はんざわろくろうなりきよ）を訪ねた帰路、豪雨に遭い、洪水で渡れないでいると一羽の鶯が鳴いて浅瀬を教えたという、断崖から瀬を見下ろす史跡公園です。</p>
<p>まんぶくじ かのんさま 満福寺の観音様</p>	<p>満福寺は、畠山重忠公の開基と伝えられています。この寺の観音様は、通称“よめご観音”や“馬観音”と呼ばれ、重忠公の守本尊となっています。毎年正月15日は、この観音様の縁日となっています。</p>
<p>しょうふくじ しょうふくかのん 勝福寺の招福観音</p>	<p>江戸中期に創建された勝福寺は境内に招福観音が安置され、毎年4月に火わたり行事など催され人々が参詣に訪れます。</p>
<p>畠山重忠公史跡公園</p>	<p>秩父鉄道武川駅の南西約2キロ、北を荒川が、南を吉野川が流れるのどかな田園風景のなかに、畠山重忠公史跡公園があります。ここは、重忠公の館跡を公園整備したものです。公園内のほぼ中央の覆屋のなかにある重忠公の墓は、四角の台石の上に5つの石を載せた1.8メートルほどの五輪塔です。その下には、重忠公の兜の一部をカメに入れて埋蔵してあると伝えられています。傍らの小さな5つの五輪塔は、従臣たちの墓とされています。その他園内では、重忠公の父、重能（しげよし）公の墓や、重忠公を讃える碑、重忠公が産湯に浸ったと言われる井戸など、重忠公を偲ばせる史跡がみられます。公園入口には、愛馬三日月を背負った重忠公の「ひよどり越え」の銅像が立っています。</p>
<p>六堰頭首工</p>	<p>六堰は、荒川から取水する奈良堰、玉井堰、大麻生堰、成田堰、御正堰、吉見堰の六つの堰の総称として呼ばれていましたが、現在はこれに山王用水を加えた取水口が統合されて、地区全体の用水施設は通称「大里用水」といわれています。現六堰頭首工は、県北部深谷市他2市5町の荒川流域に広がる水田3,820haをかんがいする取水施設で、国営及び県営により農地防災事業が行われ、平成14年6月29日に通水式が行われました。また、併設された重忠橋からみる鶯の瀬は絶景で、畠山重忠公史跡公園へのアクセス道路としても利用されています。</p>
<p>重忠まつり</p>	<p>郷土の武将畠山重忠公を偲び、史跡公園にて毎年3月の最終日曜日に開催されます。重忠踊り、奉納相撲、石投げ大会などの行事が行なわれています。</p>
<p>川本ふるさとまつり</p>	<p>毎年8月第1日曜日に実行委員会主催によりおまつり広場を中心に開催されます。荒川の流れを利用したいかだ流し大会や郷土芸能大会、花火の祭典などを実施しています。</p>

2 - 6 - 7 - ( 1 )

( 1 ) 主な観光資源

< 川本町 >

サングリーンパーク	サングリーンパークは、平成2年5月にオープンした町立の公園です。人気の変形自転車やアスレタワー、パターゴルフ、さくら鉄道(ミニ鉄道)など、ユニークな施設がそろっていて、園内は家族連れでにぎわいます。
農林公園	農林公園は、県民の皆さんが農林業や農村文化と触れ合い、理解してもらうとともに、農林業関係者の研修の場として埼玉県により設置されました。広い園内には武蔵野の林が残り、四季折々の散策が楽しめます。芝生自由広場では、子どもたちが走り回ることができます。また、木材文化館では、木の良さが味わえる木材製品や農林業の技術が紹介されています。このほか、農産物直売所や花き温室、ウメやモモなどの花が咲く果樹園や野菜園、ハーブ園などがあり、さまざまな過ごし方ができるようになっています。

< 花園町 >

小前田諏訪神社の秋祭り	祭りには、上町・中町・本町の三台の祭り屋台が曳き廻されます。これらの屋台は、いずれも明治初期に建造されたものです。交通事情から長らく中止されていた秩父往還(旧140号線)での曳き廻しも、地元の熱意で、平成10年に約40年ぶりに再開されています。現在屋台は、地区内に建設された道の駅「はなぞの」の地域振興施設アルエットのなかに展示収蔵されています。これらの屋台は、町指定文化財に指定されています。
豊栄神社のささら獅子舞	花園町黒田地区にある豊栄神社では、毎年10月に秋祭りが行われ、無病息災や豊作を祈願して、ささら獅子舞が奉納されます。「ささら」とは、木または竹製の擬音発生具の名称で、こすりあわせて音を出します。埼玉県を含めた北関東地方では、獅子舞の別名にもなっています。黒田のささら獅子舞は、言い伝えによると江戸時代中頃、荒川の増水により獅子頭が上流から流れ着いたのが始まりとされています。農家の長男が代々受け継いできたというこの獅子舞、一時途絶えていましたが、地区の人たちの復活させようという気運により、昭和46年、黒田ささら獅子舞保存会が結成され、子どもたちへの伝承活動が始まりました。現在では、保存会のメンバーが地元の小・中学生に教え、子どもたちによっても演じられています。獅子は、法眼獅子、女獅子、男獅子の3頭立ての形式です。23曲ある舞のなかから8曲程で行われる獅子舞には、3つの獅子頭のほかに、万灯や花笠、棒使いなどの役が付き、調子のよいお囃子に合わせ獅子舞を盛りたてます。(昭和52年町指定無形文化財)

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 花園町 &gt;

花園中学校裏のサギの生息地	秩父鉄道小前田駅を降りて北へ10分ほどの距離にある花園中学校は、県の愛鳥モデル校に指定されています。校舎の裏の林は、緑と自然に恵まれた野鳥のパラダイスです。約1.2ヘクタールの敷地には、ヒノキ、杉、松などの木々が茂っています。この林では、コサギやササゴイなどの野鳥が生息し、7月の最盛期には300羽が群れるといわれています。
永田八幡神社の神代神楽	花園町永田地区の八幡神社に伝わる神楽は、神川町の金鑽（かなさな）神社の流れを汲むもので、口伝によるとその起源は今から約150年前までにさかのぼるといわれています。現在伝承されている神楽は全部で25座あり、そのうち上演が可能なものは11座です。毎年4月15日の八幡神社の例祭の時に境内の神楽殿で上演されています。
六堰頭首工	六堰頭首工から取水する大里用水は、今から400年前の慶長2年（1597）現在の熊谷市川原明戸地先の荒川に、奈良堰用水が開削されたのが始まりで、その後、荒川本流5キロの間に順次5箇所が開削されたといわれています。江戸時代には花園町永田と対岸の川本町畠山の間を瀧の渡しと呼ばれる渡し場があり、村々によって利用されていました。当時は、このあたりは両岸ともに切り立った岸で急流であり、景色も非常に良かったと江戸時代に幕府により編纂された新編武蔵風土記稿に記されています。これらの用水は洪水の毎ごとに取水口が閉塞されたり、干ばつによる水争いが永年にわたって繰り返され、時には流血の惨事を起こしたこともありました。この様な状況から、大正15年に各用水堰の代表者によって、合口による取水方法が協議され、工事施行を県に申請し、農林省の補助を得て昭和2年から14年にかけて「県営用排水幹線改良事業」が実施され、熊谷市を中心に荒川を挟む大里地域及び北埼玉郡の、1市13村（当時）の約2,700ヘクタールをかんがいしてきました。その後、老朽化に伴い、平成14年に六堰頭首工が下流の川本町に、管理棟が花園町に完成しました。
鐘撞堂山	寄居町と花園町、美里町の分岐点にある鐘撞堂山。標高約330メートルの頂上に立つと、寄居町の街並や関東平野を一望できます。戦国時代には、鉢形城の見張り場で、異変の時に鐘を撞いて知らせたと言われていることから、その名が付けられたと伝えられています。平成14年度には、鐘撞堂山ふるさとの森整備基本計画を策定し、平成15年度から、貴重な自然を次世代へ残していくために、県と協力しながら整備が進められています。
ふるさと納涼夏まつり	毎年旧盆の8月13日又は14日の日に花園中学校校庭で、花園町商工会が主催で実施しています。花園音頭踊りコンクール、各種イベントを実施しています。

## ( 1 ) 主な観光資源

## &lt; 花園町 &gt;

はなぞの秋まつり	毎年11月に町民の交流を目的に歌謡ショー、バザー、地場産野菜などの即売などの各種イベントのほか、文化作品展も実施しています。
道の駅「はなぞの」	「道の駅」は、道路利用者のための休憩施設と、道路利用者や地域の方々のための情報交流機能、そして「道の駅」をきっかけに町と町とが手を結びあう地域の連携機能の3つの機能を併せもつ施設です。「道の駅はなぞの」には、地域振興施設「アルエット」やJA花園農産物直売所、ふれあい農園などがあります。